

## 消費者課題

# 製品・サービスの欠陥の発生を未然に防止できるしくみづくりを進めています。

日軽金グループは、お客さまに安全で満足いただける製品・サービスを提供できるよう、開発・設計から製造、納品に至るまでの全プロセスを品質保証・管理活動の対象としています。金属材料は、設計によってさまざまな性能を実現できる反面、製品の重要機能を損なうリスクも内包していることを自覚し、弛まない自己検証と品質管理の能力向上に努めています。

### 品質方針

特長ある製品とサービスを確実な品質および安全性とともに提供することにより、お客さまの信頼を確保する。

#### » 2015 年度活動方針

1. 品質レベル向上により、お客さまの満足と信頼を獲得する。
2. 製品の開発から量産までの各段階で品質・安全性を確保する。
3. 法令遵守、品質リスク管理の強化により社会的信用を確立する。
4. グローバル展開に対応した品質保証スキルを持った人材を育成する。

### 事例から学ぶ

日軽金グループは、品質に関する「失敗」を「財産」に変える取組みを行っています。失敗に対しては、当該部門だけでなくグループの品質保証統括部門や関係部門と協働し、真因の追及を行っています。そこでの成果は、品質改善能力向上プログラムの一環で行われている「品質自主研究会」や、グループの品質担当で構成する「品質委員会」などで共有されます。

また、他社で発生した事例も参考にし、同じようなことがグループで発生しないかどうか、点検しています。さらに、お客さまへの流出には至らなかった「失敗」も「財産」と捉え、真因を追及し、品質自主研究会や品質委員会などで共有しています。

### 品質自主研

日軽金グループは、次世代の管理職を現場で実践教育する「品質自主研究会（品質自主研）」を実施しています。2015 年度は 5 回の活動を行い、計 39 名が参加しました。量産前の不具合未然防止、クレームの低減、新工法における品質管理の確立、不具合の分析および対策立案方法などをテーマとして活動を行いました。

### 品質診断

日軽金グループは、毎年国内外の各拠点を対象に、品質診断を実施しています。品質診断は、日本軽金属ホールディングス(株)製品安全・品質保証統括室が各拠点を訪問し、品質保証・管理上の課題の抽出を行うものです。主な内容は、開発工程手順の明確化、製造工程のチェック、協力会社・購入部品の管理状況の確認、関係法令の遵守状況の確認などです。

2015 年度は海外拠点を含む 34 社 54 事業所に対して品質診断を行いました。その結果、製品・サービスの提供において、法令違反はありませんでしたが、品質管理の手法や分析方法などに課題があり、改善を進めています。

また、日本軽金属ホールディングス(株)製品安全・品質保証統括室だけでなく、その他の事業所の品質委員も診断に参加し、2015 年度の参加者は 9 事業所からのべ 39 名となりました。この取組みは、受け入れ側にとっては異なる視点からチェックが入ること、参加者側にとってはさまざまな生産ラインや製品を題材に品質課題を解決する体験を通じて品質管理ができる人材の育成にもつながること、などを期待しています。



品質診断での現場確認の様子

### 今後に向けて

#### CSR推進計画(2016年度推進項目抜粋)

推進テーマ	主要行動計画	KPI
コンプライアンス	製品含有化学物質管理態勢の確立	
品質保証態勢の整備	分析・検査体制の再点検	点検力パー率 (x/設備保持拠点数)